

令和5年度 第1回千葉市立博物館協議会

日時 令和5年9月1日（金）

13:30~15:30

場所 千葉市立郷土博物館 講座室

次 第

1 開 会

2 部 長 挨 拶

3 議 題

(1) 令和4年度の事業報告について

(2) その他

4 閉 会

3 議題

(1) 令和4年度の事業報告について

→次ページから

(2) その他

議題2 令和4年度の事業報告について

○加曾利貝塚博物館

1 入館状況

年度	開館日数(日)	来館者数(人)	備考
2年度	260	33,500	R2.4.1~R2.5.25 臨時休館
3年度	308	52,124	
4年度	308	53,378	

2 事業実績

	事業内容	実施期間	説明
(1) 維持管理事業	ア 維持管理事業	通 年	加曾利貝塚博物館の施設管理業務及び加曾利貝塚縄文遺跡公園の維持管理業務 ①警備・清掃業務委託 ②草刈業務委託 ③消防用設備その他保守点検委託
	イ 施設修繕	6 月	自動火災報知設備(収蔵庫階段上)修繕
		8 月	雑排水槽ポンプ基盤修繕
		11 月	高圧引込ケーブル修繕
		2 月	樋修繕
		1 月	ベンチ修繕
		1 月	第二収蔵庫照明器具修繕
3 月	消火ポンプ設備修繕		
(2) 資料収集保管事業	ア 資料の整理保管	通 年	資料は埋蔵文化財調査センターと共同で管理しており、相互の連携を踏まえて台帳の整理及び保管状況の確認などを随時実施している。 ※第1・第3収蔵庫の解体に伴い、平成29年度に大半の資料を移動。現在、旧幸町第一小学校で1560箱、埋蔵文化財調査センターで120箱を保管している。
	イ 資料の貸出	通 年	他の博物館等の求めに応じて、資料の貸出等を行った。 ① 資料貸出 2件 7点 ② 写真貸出・掲載 34件 60点 ③ 資料館内利用 3件 419点 ④ 普及用品貸出 1件 14点
(3)	ア グループ研究	通 年	加曾利E式土器に関する集成研究

	イ 個別研究	通 年	<ul style="list-style-type: none"> ・加曾利貝塚等の出土土器の編年学的研究 ・遺跡保存に関わる実験的研究
	ウ 委託研究		<ul style="list-style-type: none"> ・早稲田大学による地中レーダー探査 ・収蔵資料 3DCG データ作成撮影
	エ 『貝塚博物館 紀要』の発行	3 月	『貝塚博物館紀要』第 49 号の発行 A4 判 64 ページ 600 部 <ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度千葉市内主要貝塚資料分析報告 (西野 雅人 埋蔵文化財調査センター) ・草刈場貝塚の採集資料について (西野 雅人 埋蔵文化財調査センター) ・加曾利 E 式土器資料集成研究④ ・千葉市域の加曾利 E 式終末期の様相について (館 祐樹 千葉県教育委員会文化財課) ・千葉市の錯綜する 2 対の貝塚の履歴 -東ノ上西・東ノ上東と坊辺田・築地の場合- (堀越 正行 元加曾利貝塚博物館館長)
(4) 展 示 事 業	ア 常設展	通 年	加曾利貝塚から縄文時代の貝塚を見る 資料点数：382 点
	イ 企画展		
	「特別史跡加曾利貝塚 令和 3 年度発掘調査 速報展」 (企画展示スペース)	4 月 12 日(火)～ 7 月 3 日(日)	令和 3 年 7 月～12 月にかけて実施した特別史跡加曾利貝塚の発掘調査について、出土資料を中心に発掘の成果を紹介した。 資料点数：66 点 入館者数：15,609 人
	初夏のパネル展 「復元集落のいま・ むかし」 (ミニ展示スペース)	5 月 31 日(火)～ 8 月 3 日(水)	平成初期に整備した復元集落の過去の写真と、令和現在の姿を比較しつつ振り返るパネル展。 点数：12 点 入館者数：8,354 人
夏休み企画展 「調べて発見！わた しのまちの縄文時代 2022」 (企画展示スペース)	7 月 16 日(土)～ 9 月 4 日(日)	夏休み期間中の小中学生を対象に、市内の縄文時代の遺跡について解説した。遺跡散歩用地図を配布。 花見川・稲毛区小中台周辺(鳥喰貝塚など) 若葉区平和公園周辺(多部田貝塚など) 中央区千葉寺周辺(猪鼻城跡など) 緑区あすみが丘周辺(辰ヶ台遺跡など) 資料点数：21 点 入館者数：5,538 人	

	館蔵レプリカ展示 「四季折々の縄文グ ルメ」 (ミニ展示スペース)	8月6日(土)～ 9月11日(日) 再展示 2月28日(火)～ 5月14日(日)	博物館学芸員館務実習生による企画および展示。 実習成果を発表することを目的とし、館蔵の食にかかわる遺物のレプリカなどを解説付きで展示。 資料点数：30点 入館者数：4,261人 ※入館者数は3月末までの集計
	秋の企画展「縄文土 器の技と美」 (企画展示スペース)	9月21日(水)～ 11月6日(日)	戸村正己氏に依頼・作製してもらった加曽利E式 土器の製作技法に焦点を当てて解説。 資料点数：68点 入館者数：5,602人
	県内縄文遺跡展 「武士遺跡」 (ミニ展示スペース)	9月21日(水)～ 11月6日(日)	市原市武士遺跡出土遺物を調査風景と共に展示。 資料数：13点 入館者数：5,602人
	「あれもE これもE -加曽利E式土器- (内房地域編)」 (企画展示スペース)	11月22日(火)～ 2月19日(日)	内房地域出土の加曽利E式土器の資料を中心に 時期を追って展示し、縄文文化における土器型式 の変遷や文化の移り変わりを解説するなどの展示 を行った。 資料点数：40点 入館者数：13,960人
	「特別史跡加曽利貝塚 令和4年度発掘調査 速報展」 (企画展示スペース)	3月7日(火)～ 7月2日(日)	令和4年7月～12月にかけて実施した特別史跡加 曽利貝塚の発掘調査について、出土資料を中心に発 掘の成果を紹介した。 資料点数：16点 入館者数：2,119人 ※3月分のみ
(5) 教 育 普 及 事 業	ア 講座・イベント 縄文ひろば	4月10日・24日 5月8日 9月25日 10月9日・23日 11月13日・27日 12月11日 1月22日 2月12日・26日 3月12日・3月26 日 の各日曜日 計14回	火おこしデモ公開、石器づくりデモ公開、復元住居 公開・火焚き実施、史跡公園内ツアー他を実施。 ※例年、火おこし体験、アンギン編み、貝のアクセサリーづ くり、縄文服の試着体験等、縄文時代の生活を学ぶことを目 的に実施してきたが、コロナ禍の中、接触を伴う体験学習や、 密集につながる見学対応は前年度に引き続き見合わせた。 参加人数：13,197 ※例年、第2・第4日曜日に実施してきたが、コロナ禍で4 回分が中止。

縄文春まつり	5月4日(水)・5日(木)	勾玉づくり・組ひもづくり、縄文不思議発見の旅、縄文工作教室、スマートグラス体験 (AR体験)、「教えて学芸員」、加曽利クエストなどを実施 参加人数：4,755人
自然観察ワークショップ	5月21日(土) 2月19日(土) ※5/21は雨天中止	加曽利貝塚の自然を活かしたワークショップ。指導者を迎え、園内の自然観察を行う。 参加人数：延べ10人
土偶づくり講座	5月14日、28日、各土曜日 ※2日間で一連の講座	中学生～成人を対象とした土偶づくり体験。粘土素地づくり・成形・整形・焼成を学習した。 参加者：延べ14人
夏休み縄文デー	8月14日(日)	勾玉づくり・貝輪づくり・組ひもづくりの小学生向けの体験学習週間として実施。 参加人数：延べ80人
縄文プチ秋まつり	11月13日(日)	勾玉づくり・組ひもづくり、縄文不思議発見の旅、縄文工作教室、スマートグラス体験 (AR体験)、加曽利貝遊 (タブレット貸出) などを実施。 参加人数：1,722人
加曽利ウォーク	10月29日(土)	市内文化財を歩いて巡る講座。今年度は若葉区平和公園周辺の遺跡(多部田貝塚など)を対象とした。 参加人数：10人
春よ来い!	2月26日(日)	勾玉づくり・組ひもづくり、縄文不思議発見の旅、縄文工作教室、土偶ペーパークラフト、スマートグラス体験 (AR体験) などを実施。 参加人数：1,824人
縄文時代研究講座	1月14日・28日、 2月4日・18日、 3月11日・18日の各土曜日	一般市民向けの初級から中級の講座。 第1回「あれもEこれもE加曽利E式土器-内房地域編-」 講師：渡邊 玲 (当館職員) 第2回「北の大地の「周堤墓」と集落-「キウス」を例として-」 講師：阿部 明義 (千葉県教育振興財団文化財センター) 第3回「加曽利貝塚デジタル三次元測量・地中レーダー探査調査」 講師：隈元 道厚 (市原市教育委員会) 第4回「県内貝塚の分布調査-成果とその先に向けて-」 講師：松浦 誠 (千葉県教育庁文化財課) 第5回「縄文時代の魚類利用について」 講師：服部 智至 (千葉市教育委員会文化財課) 第6回「縄文土器の技と美」

		講師：戸村 正巳（千葉市埋蔵文化財調査センター） 参加人数：159人
特別講座 考古学研究の最前線	10月15日(土)	考古学の新たな研究法を模索するため、考古学の研究者を招き、博物館と共に行う講座 一般市民の参加が可能な上級者向けの講座。 『縄文時代後期の新視点』—中葉から後葉への変化— 「気候変動と生活世界の変化」 安斎 正人（元東北芸術工科大学東北文化研究センター教授） 「下総台地の縄文後期集落—なにがどう変化したか—」 西野 雅人（千葉市埋蔵文化財調査センター所長） 「縄文時代後期中葉土器群の変遷からみた地域間関係」 西村 広経（松戸市立博物館学芸員） 「縄文時代後期の儀礼用容器の様相について」 秋田 かな子（東海大学文学部准教授） 総括 安斎 正人 参加人数：74人
考古学基礎講座	3月12日(日)	一般市民向けの初級から中級の講座。 「石器のみかた 石器のかたちからSDGsの原点を探る」 渡邊 玲（当館職員） 参加人数：36人
「発掘調査体験・縄文 工作教室」	4月～3月 土・日曜日・祝日 計116回実施 発掘体験40回 工作教室76回	発掘調査体験や縄文工作教室(万華鏡・エンドレス 絵本・パッチンカード)を実施。 参加人数：延べ3,291人
外部イベントでの啓発 【依頼なし】		各所で開催されたイベントへ参加し、加曽利貝塚 のPRを実施。※令和4年度も相談などなし。
イ 小学校・団体見学		
小学校・中学校 高等学校	通 年 11月15日(火) 12月8日(木) ・9日(金) 1月25日(水)	市内小学校26校、市内中学校1校、市外小学校19 校、市外中学校2校、市外高校1校が社会科見学等 で来場。史跡内の解説およびワークシートなどによ る学習を指導した。 桜木小学校のみ例年実施の学習支援を行った。 5年生の児童130人を対象に、事前の出前授業およ び加曽利貝塚への見学対応を行った。 3年生(40人)の出前授業を行った。 ※桜ヶ丘特別支援学校からは相談があったが、未実施。
団体	通 年	令和4年度は計62件の一般団体見学に対応し た。

<p>ウ 講師派遣</p>	<p>6月20日(月) 8月21日(日) 9月29日(木) 10月1日(土) 10月19日(水) 11月6日(日) 12月1日(木) 1月25日(水)</p>	<p>職員が各施設に出向くなど加曽利貝塚について講義・講演を行った。 大学講義ゲストスピーカー（東都大学） みんなの学校（朝日ヶ丘公民館） 公民館講座（緑が丘公民館） 図書館講座（緑図書館） 公民館講座（土気公民館） 博物館講座（八千代市歴史博物館） 公民館講座（末広公民館） ゲストティーチャー（桜木小3年生）</p>
<p>エ 出張展示</p>	<p>4月16日(土)～ 4月27日(水) 9月13日(火)～ 9月26日(月) 9月27日(火)～ 10月10日(月)</p>	<p>千葉市生涯学習センター（千葉市教育振興財団） 稲浜ショップ（千葉経済開発公社） 高洲ショッピングセンター（千葉経済開発公社）</p>
<p>オ 職場体験の受け入れ</p>	<p>6月21日(火) ・22日(水) の2日間</p>	<p>職場体験の機会を提供した。内容は主に学芸業務（資料整理の実務など）を体験。 葛城中2年生 1校2人</p>
<p>カ 博物館実習の受け入れ</p>	<p>7月28日(木)～ 8月5日(金) の8日間</p>	<p>学芸員課程履修中の学生4大学4人の館務実習生を受け入れた。実習内容は、施設の維持管理、資料整理、展示など教育普及事業の補助などを行った。</p>
<p>キ 博物館ボランティアの活用・育成 【ガイド活動】</p>	<p>通 年</p>	<p>博物館の業務を支えるボランティアを育成し、博物館活動の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動内容 博物館内および遺跡公園内の解説、体験学習（火おこし体験など） 博物館以外の園内および施設に限った解説、復元集落での火焚きおよび語り部、火おこし・石器づくりのデモの実施、体験学習は接触を伴うため未実施など、ソーシャルディスタンスの元で行える一般見学者向けの活動のみ実施。 ・活動日時 火曜日～日曜日、館のイベント実施日などの期間 10時00分～15時00分、その他見学団体からの要請に対応 ※事前予約があった場合、ガイド1人に見学者5人の小グループでの見学対応を実施。 ・登録人数：57人 ・年間解説：300回 延べ13,197人

	【研修講座】	7月5日、12日、 19日、26日の各 火曜日 9月7日(水) ～9月11日(日)	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎講座（全6回※4日間） ボランティアに関する基礎的な知識の習得を目的に生涯学習センターで実施。 ・専門講座（全5回） 加曾利貝塚の歴史などに関する専門的な知識の習得や体験学習・展示解説の実習を目的に加曾利貝塚博物館で実施。
(6)	ア 千葉県博物館協会 イ 全国博物館長会議 ウ 全国歴史民俗系 博物館協議会 エ 日本博物館協会	5月24日(火) 7月6日(水) 7月20日(水) ～8月3日(水) 11月16日(水) ～18日(金)	<p>総会(基本オンライン開催) (千葉県立中央博物館)</p> <p>文部科学省(オンライン開催)</p> <p>年次総会(書面開催)</p> <p>※関東ブロック集会は未開催</p> <p>第70回全国博物館大会(高知県立県民文化ホール高知市) 不参加</p>

○郷土博物館

1 入館状況

年度	開館日数(日)	来館者数(人)	備考
令和2年度	260	30,453	R3.4.1~R3.5.25 臨時休館
令和3年度	308	44,648	
令和4年度	309	56,522	

2 事業実績

	事業内容	実施期間	説明
(1) 維持管理事業	ア 維持管理事業	通年	郷土博物館施設の管理業務委託の実施 ①警備委託 ②清掃委託 ③エレベーター等設備関係保守委託他
	イ 設備改修事業	通年	展望室眺望改善改修工事 その他消防設備の改修等を実施
	ウ 展示リニューアル調査検討	通年	館内の展示リニューアルについて調査検討を行い、リニューアルコンセプト、展示テーマ、展示構成・動線計画等をまとめた。 ・展示リニューアルのコンセプト 「郷土千葉のあゆみ、そのダイナミズムがわかる博物館への再生」 ・展示テーマ 陸と海・人とモノを結ぶ「千葉」 ・展示構成・動線計画 1階からエレベーターで5階へ移動、そこから下へ1階ずつ降りていく動線 1階 エントランス 企画展示室 →EVで5階へ ↓5階 展望室(現在の千葉市を見る) ↓4階 原始古代 ↓3階 中世 ↓2階 近世・近現代

(2) 資料 収集 保管 事業	ア 資料の収集	通 年	<p>展示・研究等に必要資料の収集を行った。</p> <p>地図類など 24 点の寄贈等を受け、資料として登録した。</p> <p>他に、展示用の古文書の複製を 5 点製作した。</p>
	イ 資料の整理保管	通 年	<p>収蔵資料の再整理作業を行い、基本カードの再確認、資料のデジタル撮影を進めた。また、他の博物館等の求めに応じて、資料の貸出等を行った。</p> <p>①資料貸出 8 件 25 点</p> <p>②写真貸出・掲載 51 件 276 点</p> <p>③資料館内利用 2 件 3 点</p>
	ウ 新規収蔵資料 燻蒸	1～2月	新たに寄贈、寄託等を受けた資料の燻蒸を行った。
	エ 収蔵庫・展示室 等環境調査	7月～11月	本館及び収蔵庫について、展示・収蔵環境の現状を多角的に把握し、展示・収蔵資料のよりよい保存環境を整備するために環境調査を実施した。
(3) 調 査 研 究 事 業	ア 館内調査研究	通 年	企画展等に伴う資料調査を実施した。
	イ 千葉市民俗資料 調査	通 年	当館所蔵の民俗資料（主に信仰関係）の調査を行った。
	ウ 千葉氏関係資料 調査	通 年	<p>各地に残されている千葉氏に関する資料や情報を収集調査した。また、千葉氏関係史料の史料目録を作成し、一部を研究紀要に掲載した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉氏関連石造物の調査 ・富山県魚津市「越中椎名氏」関係調査
エ 『研究紀要』の 発行	3 月	<p>『研究紀要』第 29 号の発行</p> <p>A4 判 52 ページ 800 部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉氏関係史料調査会調査概報（五） ・資料紹介 黄表紙『月星千葉功』 	

(4) 展 示 事 業	ア 常設展	通 年	<p>千葉市に関わる歴史資料の展示</p> <p>1階 歴史年表、千葉市域の城郭遺跡、千葉市に関するミニ展示など。</p> <p>2階 所蔵資料にみる日本の武器・武具 天文資料コーナー ※特別展期間中は撤収</p> <p>3階 千葉氏の興亡と妙見信仰</p> <p>4階 近現代の千葉</p> <p>5階 展望室（パネル展示など）</p>
	イ 特別展 政令市移行 30 周年 記念「我、関東の将 軍にならん—小弓公 方足利義明と戦国期 の千葉氏—」 (2階展示室)	10月18日(火)～12 月11日(日)	<p>室町時代から関東の将軍である鎌倉・古河公方を世襲してきた関東足利氏に生まれた足利義明が戦国時代に小弓（現中央区生実町）に御所を置き、もう一人の公方（小弓公方）となった。この足利義明をテーマに、小弓公方の盛衰、千葉氏をはじめ武田氏、北条氏などの周辺勢力の動向や義明との関わり、豊臣秀吉による家名復活と近世以降を生きた子孫等を紹介した。</p> <p style="text-align: right;">資料点数： 124 点 入館者数：9,486 人</p>
	ウ 企画展		
	「甘藷先生の置き土 産—青木昆陽と千葉 のさつまいも—」 (2階講座室)	8月30日(火) ～10月16日(日)	<p>青木昆陽の人物像と昆陽の「置き土産」とも称すべき、近世から近現代にかけて市域で盛んになったさつまいも栽培と各地への広がりや産地間競争の激化、広く食品加工工業の原材料として活用され市域の経済を支えたこと、戦中・戦後の食糧難を救ったことなどを紹介した。</p> <p style="text-align: right;">資料点数： 155 点 入館者数：6,479 人</p>

	パネル展「千葉常胤と13人の御家人たち（北関東編）（1階展示室）」	5月19日(木)～ 7月12日(火)	鎌倉幕府成立に大きく貢献した千葉常胤と同時期に活躍した御家人13人の内、北関東に勢力を持っていた7人の御家人について紹介した。 資料点数： 29点 入館者数：5,735人
	鎌倉殿の13人展（NHK サービスセンター主催）	4月23日(土)～ 5月15日(日)	NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に関するパネルやドラマで使われた衣装・小道具などを展示した。 資料点数： 31点 入館者数：5,622人
	「遺物から見える地域文化の発達 縄文時代前期後葉～末葉」（市埋蔵文化財調査センターと共催）（1階展示室）	11月23日(水)～1 月22日(日)	縄文時代後葉から末葉にかけて、関東地方の東西で異なる形や模様の土器が分布するとともに、生活用具や住居の形なども違い、それぞれ独自の地域文化が形成されていたと見られる。それら遺物から読み取れる地域のアイデンティティの発達について展示した。 資料点数： 183点 入館者数：6,651人
(5)	ア 講座・イベント		
教育普及事業	鎧やむかしの着物の着用体験	毎月第3土曜日 (11月から実施)	中世の鎧を身に着けて、その重さや動きやすさなどを体験することで、歴史を親しみながら学ぶ機会とした。 参加人数：130人
	ちょっと昔の遊び体験	毎週土曜日 (11月から実施)	かざぐるまやぶんぶんゴマづくり、折り紙など昔なつかしい作って遊ぶ体験 参加人数：321人
	夏休み郷土史講座	7月20日(火)	小学生4～6年生を対象に博物館所蔵の資料を使ってむかしの暮らしについて講義を行った。 参加人数：8人
	火縄銃演武 【中止】		火縄銃の実射（空砲）や鉄砲隊の装束、撃ち方などを間近で学べる火縄銃演武。 参加人数：0人
	歴史散歩	2月4日(土)	市内の史跡や文化財などを訪ねて、見学と解説を実施した。 講師：当館職員（定員：20人） 参加人数：14人

<p>鎌倉騎馬武者体験 【中止】</p>		<p>鎌倉時代の武士が用いた大鎧などを着用して郷土博物館前で乗馬体験。</p>
<p>歴史講座</p>	<p>10月22日(土) 11月5日(土) 12月3日(土)</p>	<p>特別展と関連して「関東の風雲児小弓公方足利義明とその時代」をテーマに開催した。(千葉経済大学と共催、定員：120人)</p> <p>第1回「足利氏とは何者かー中世における足利氏の位置付けと戦国期東国の世界ー」 講師：谷口雄太氏(青山学院大学准教授)</p> <p>第2回「戦国時代の軍需物資の確保と調達ー木材・鉄・鉛・兵糧を中心にー」 講師：盛本昌広氏(中世史研究家)</p> <p>第3回「房総の戦国時代と小弓公方足利義明」 講師：滝川恒昭氏(千葉経済大学講師)</p> <p style="text-align: right;">参加人数：298人</p>
<p>講座「千葉氏をまなぶ」</p>	<p>10月25日(火) 11月1日(火) 11月8日(火)</p>	<p>生涯学習センターと共催で、「千葉氏に関連した中世の千葉の様子について学習する」をテーマに開催</p> <p>10/25「小弓を訪れた連歌師宗長 ～「小弓公方」足利義明登場前夜の千葉～」</p> <p>11/1「千葉氏が鎌倉殿の「御家人」になるまで」</p> <p>11/8「展示解説」 講師：当館職員</p> <p style="text-align: right;">参加人数：延べ102人</p>
<p>千葉氏公開市民講座</p>	<p>6月25日(土) 12月10日(土)</p>	<p>6月25日は千葉県文化会館小ホールを会場に下記の内容で開催した。</p> <p>「鎌倉幕府成立史における千葉氏と北条氏」 講師：岩田慎平氏(神奈川県愛甲郡愛川町郷土博物館主任学芸員)</p> <p>12月10日は千葉大学と共催で、千葉大学弥生キャンパス内けやき会館で「酒天童子の物語と千葉氏ー逸翁本『大江山絵詞』をめぐってー」を全体テ</p>

		<p>マに開催した。</p> <p>講演1 「逸翁本『大江山絵詞』の輪郭」 講師：久保勇氏（千葉大学大学院人文科学研究院・准教授）</p> <p>講演2 「逸翁本『大江山絵詞』の伝来と千葉氏」 講師：鈴木哲雄氏（都留文科大学教養学部・特任教授）</p> <p>映像：千葉氏ポータルサイトで3月末より公開 講演録：A4判 82ページ 500部（3月刊行）</p>
イ 学校・団体見学		
出前授業	通 年	<p>郷土の歴史について、市内小中学校からの依頼に対し出前授業を行った。</p> <p>実施校数：11校（43学級、1,045人）</p>
学校見学	通 年	<p>市内小中学校21校、市外小中学校9校が社会科見学で来館した。</p> <p>※ワークシート等を活用</p>
団体見学	通 年	<p>来館した団体に対してボランティアによる展示解説</p> <p>※令和4年度は中止</p>
エ 講師派遣	通 年	<p>施設や団体からの依頼に応じて、職員が出張し、館外で郷土史に関する講義を実施した。</p> <p>5月6日（金）調理国際科講義（佐倉東高校） 5月14日（土）生涯学習アカデミーちば（生涯学習センター） 5月24日（火）歴史講座（土気あすみが丘プラザ） 6月1日（水）千葉カレッジ2022（生涯学習センター） 6月18日（土）一宮町文化講座（一宮町中央公民館） 6月29日（水）歴史講座（黒砂公民館） 6月30日（木）歴史講座（みつわ台公民館） 7月8日（金）歴史講座（東庄町公民館） 7月28日（木）歴史講座（幕張本郷公民館） 8月17日（水）幕張地元学習会（幕張公民館） 9月3日（土）歴史講座（山王公民館） 9月11日（日）歴史講座（誉田公民館） 9月25日（日）歴史講座（誉田公民館） 10月30日（日）千葉古文書の会（千葉市民会館） 11月12日（土）歴史講座（新宿公民館） 11月27日（日）歴史講座（小見川市民センター） 11月29日（火）佐倉市民カレッジ（佐倉市立中央公民館）</p>

	<p>12月17日(土) 1月16日(月) 1月18日(水) 1月20日(金) 1月25日(水) 2月9日(木) 2月12日(日) 3月18日(土)</p> <p>他に市政出前講座</p> <p>11月7日(月) 11月20日(日) 2月14日(火)</p>	<p>里見氏研究会(ハーモニープラザ) 遺跡発表会(印旛郡市文化財センター) 歴史講座(花見川公民館) 歴史講座(轟公民館) 歴史講座(花見川公民館) 歴史講座(若松公民館) 市史編さん事業講演会(木更津市中央公民館) 一宮町史編さん講座(一宮町中央公民館)</p> <p>①千葉開府900年に向けて、千葉氏を知ろう ②郷土博物館ってどんなところ</p> <p>①松花くらぶ(あやめ台いきいきセンター) ②カフェ☆ミラクル(磯辺公民館)</p> <p>①さつきが丘いきいきセンター</p>
オ 職場体験の受け入れ	6月22日(水)～23日(木)	<p>職場体験の機会を提供する。内容は主に学芸業務(資料整理の実務など)を体験。</p> <p>1校2名</p>
カ 博物館実習の受け入れ	8月18日(木)～26日(金)	<p>学芸員課程履修中の学生4人の館務実習生を受け入れた。実習内容は、資料の整理、資料の取扱、教育普及事業の補助などを行った。</p>
キ 博物館ボランティアの育成・活用	通 年	<p>博物館の業務を支えるボランティアを育成し、博物館活動の充実を図る。</p> <p>活動内容：館内の展示解説 活動日時：開館日 10時30分～12時、12時～13時30分 13時30分～3時 他に見学団体からの要請に対応</p> <p>登録人数62人 ※8月～9月は新型コロナ感染者拡大のため、中止。 解説回数：674回、参加者数：1,672人</p> <p>○育成関係(基礎講座の受講者なし。専門講座が開催できなかったため、R4の新規登録はなし) 基礎講座：ボランティアに関する基礎的な知識の習得を目的に生涯学習センターで実施。</p>

			専門講座：千葉市の歴史に関する専門的な知識の習得を目的に郷土博物館で実施。
(6) 市史編さん事業	ア 市史編さん資料調査	通 年	千葉市域に係る歴史資料の調査を通年で実施した。 ①柏井町 小川家文書（6次分） ②平山町 千脇家文書（2次分） ③多田屋文書 他
	イ 史料編の編集	通 年	『千葉市史 史料編 近現代』第2巻目に掲載する史料の選定作業、校正作業、補充調査を行った。
	ウ 千葉市史研究講座		「千葉市史」等をもとに、市域の歴史的事柄を取り上げて史料に基づく歴史を平易に解説した。 対 象：一般（定員：200人） 会 場：千葉市生涯学習センター2階ホール
	第1回	9月26日(土)	講演1 「有角石器とはなにか—弥生時代の謎の石器—」 講師：小林嵩氏（千葉市教育振興財団） 講演2 「香取内海地域と房総太平洋を結ぶ水上の東西ライン」 講師：鈴木沙織氏（青山学院大学非常勤講師）
	第2回	10月11日(土)	講演1 「生実藩領地廻りの年貢米収納」 講師：今井公子氏（千葉市史編さん会議委員） 講演2 「土地を「有（も）つ」ということ—近世近代移行期の土地所有観の変容について—」 講師：大庭邦彦氏（千葉市史編集委員） 参加人数：延べ183人
エ 初級古文書講座	1月7日(土) 1月28日(土) 2月4日(土) 2月23日(木) 3月4日(土) 3月21日(火) (全6回)		古文書の解読を通じて、江戸時代の郷土への理解を深める。(午前コースと午後コースを実施、定員を各24人とした) テーマ：江戸時代の村の史料を読む 講 師：小代 渉氏（株東京堂出版編集部） 参加者数：延 256人
オ 中級古文書講座	11月15日(火) 11月22日(火) 12月13日(火)		初級古文書講座に比べ、より高度な理解力と、文章把握能力を身につける講座。 テーマ：江戸時代の村の史料を読む

		12月20日(火) 1月17日(火) 1月24日(火) (全6回)	講師：後藤雅知氏（立教大学文学部教授） 定員：24人 参加者数：延べ 121人
	カ 『千葉いまむかし』の発行	3月	『千葉いまむかし』36号の発行 B5判108ページ 700部 ・千葉市所蔵の木製プロペラに関する一考察 ・漆喰の原料となる貝灰—その歴史 ・下志津陸軍飛行学校格納庫の市内三小学校講堂と千葉公園体育館への転用について ・千葉市の弥生土器—新田山遺跡— 他
	キ ニュースレターの発行	9月、3月 (年2回)	ニュースレター「千葉市史編さんだより」の発行 千葉市史編さんの状況を紹介するため9月と3月に発行した。各2,000部
	ク 市史協力員の活動	通 年	古文書整理ボランティア 8人 (38回) 新聞記事データベース入力の活動 4人 (118回)
(7) 協議会	ア 千葉市立博物館協議会	8月19日(金) 3月7日(火)	第1回 ・令和3年度の事業報告について 第2回 ・令和5年度の予算(案)と事業予定について
(8) その他	ア 千葉県博物館協会 イ 関東博物館協会 ウ 日本博物館協会 エ 全国歴史民俗系博物館協議会	5月24日(火) 6月9日(木) 11月16日(水) ～18日(金) 7月20日(水)～ 8月3日(水)	総会(オンライン開催) 総会(茨城県立歴史館) 第70回全国博物館大会(高知市) →参加せず。 総会(書面会議)

【博物館法】

(博物館協議会)

第二十三条 公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

【千葉市立博物館設置条例】

(博物館協議会)

第3条 法第20条第1項[博物館法\(昭和26年法律第285号\)第23条第1項](#)の規定に基づき、千葉市立博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会は、委員10人以内で組織する。

3 法第21条[博物館法第24条](#)の規定による委員の任命は、次に掲げる者のうちから行うものとする。

- (1) 学校教育の関係者
- (2) 社会教育の関係者
- (3) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (4) 学識経験のある者

4 委員の任期は、2年とし、委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(平成24条例23・令和5条例11・一部改正)

千葉市立博物館協議会委員 名簿

任期：令和5年1月9日～令和7年1月8日

委員名	現職など	専門分野
こじま みちひろ 小島 道裕	元国立歴史民俗博物館教授（歴史研究系）	日本中近世史 博物館教育
ひろた なおゆき 広田 直行	日本大学生産工学部建築工学科教授	コミュニティ施設計画 公共施設再編計画
すずき かずひこ 鈴木 一彦	千葉大学講師	博物館学 博物館経営
こだま りえこ 小玉 理恵子	千葉市立都賀小学校校長	学校教育
しまだて りこ 島立 理子	千葉県立中央博物館企画調整課長	民俗学 博物館地域連携

令和5年9月現在